



熱く 温かく

裾野市立東中学校だより 令和6年4月8日(月)

〈校訓〉 自主 ~誠実・清純・勤勉 ~
〈学校教育目標〉 未来に向かって 自分らしく 生きる人
〈キーワード〉 考える 対話する 多様性を認める

令和6年度の幕開け

4月5日(金)に着任式と始業式が行われ、今年度着任した教職員を迎い入れ、2, 3年生は進級し、新しいクラスメイトと学級担任に出会いました。

そして、4月8日(月)、入学式が挙行され、新たに111名が東中生となりました。ここに、東中学校の新たな年度がスタートしました。

ここで、始業式式辞(抜粋)を紹介させていただきます。



主体的な学校へ～始業式～

式辞

(前略)

さて、みなさんに、ことあるごとに紹介してきています
「青年即未来」

ですが、そのことは、この東中でも、浸透しつつあります。

今年度で閉校します、向田小学校の閉校プロジェクトに、先日、東中学生の有志が参加しました。そこで、大人たちはびっくりしていました。意欲的な姿勢で会に参加し、素晴らしい意見を発表する中学生の姿に、その会に参加していた大人たちは感動していました。

「中学生ってすごい」と。

そうなのです。中学生ってすごいのです。ひよっとしたら、みなさんは、そのすごさに気づいていないのかもしれませんが。大人と同じくらい、いや、大人以上の発想力を持ち、大人以上のバイタリティや行動力を持っているのではないのでしょうか。結局、その会議で、幟のデザインや閉校プロジェクトのボランティア募集を依頼されました。地域の方々が、中学生に期待していることが強く伝わってきます。

昨年度、生徒会が実施しました、東雲祭前夜祭や東中ミッケなどは、東中生のパワーのすごさを見たような気がします。そして、入学式手伝いボランティアに五十名もの方々が名乗りを上げて、感動さえ覚えます。

みなさんは、昨年度、いろいろなことを頑張ってきました。そして、今、新しいスタート地点に立っています。自分の、自分たちの力を信じて、新しいことにチャレンジしていきましょう。我々教職員は全力でみなさんを応援します。

みなさんの手で、主体的に、さらに東中を盛り上げていってください。みなさんだったら、きっとできるはずですよ。

(後略)

式辞にも述べさせていただきましたが、東中生のパワー、バイタリティには目を見張るものがあります。そのことは、東中に限らず、どこの中学校でも言えることだと思います。中学生にはもともとすばらしい力が備わっていると考えます。これからの中学校では、その力をさらに発揮できるよう支援していく必要があります。入学式のお手伝いボランティアも、約50名の生徒が名乗りをあげてくださいました。そして、人の話を聴く態度は天下一品です。もともと持ち合わせている資質・能力をさらに伸ばし、これからの社会で大切にされている「主体性」を、もっと伸ばしてほしいと思います。そのことを全力で支援していきたいと思います。

『未来に向かって 自分らしく 生きる人』

令和6年度の本校学校教育目標です。昨年度、生徒の「こうありたい、こうなりたい」と保護者、地域の方々、教職員の有志で語り合いながら決定したものです。生徒の思いが組み込まれた、素晴らしい目標になったと思います。生徒個々に、それぞれの思いがあります。それらの思いを大切にしながら、自分らしさや自分のいいところを見つけ、それらを伸ばしていけるよう、学校は全力で支援したいと思っています。ある研究結果で、「自己決定が幸福度に与える影響は、学歴や所得の与える影響に比べて大きい(学歴の約9倍、所得の約1.5倍)」そうです。東中では、生徒が自分で考え、判断し、実行できる場面を、授業や部活動、生徒会・専門委員会活動など、あらゆる場面で創っていきたいと考えています。

そして、前述の語り合いの中から、キーワードも浮かび上がってきました。「考える」「対話する」「多様性を認める」です。これらも常に意識しながら、生徒たちとともに、魅力ある学校づくりを進めていきたいと思っています。

そして、あなたは どうしたい。

もう、誰のせいにもするな。

日本はもう、取り返しのつかないところに、足を踏み入れようとしている。
脆弱なデジタル環境、環境問題への低い意識、国際化への乗り遅れ。
複雑な社会問題は、対立とねじれを起し続ける。
それなのに、私たちはどこか他人事だ。
国か、政府か、偉い人たちか。とにかく誰かが、きっと何とかするだろう。
そうやって、次の世代を不幸にする問題は、また大きく、ふくれあがっていく。
このままでは、いいはずがない。誰かのせいにしていても、何も変わらない。
自分で考え、行動出来る人が、今の日本に必要な。
それなら、横浜創英から変えていく。
もう私たちは、中学や高校なんて枠組みに縛られないし、
生徒たちを子ども扱いすることもない。
教えるだけの授業では、身につかない。
学びたいことを学ぶためのシステムを。
学校の教室だけじゃない。
学びたいものが待つ場所に、自ら足を運べるサポートを。
あらゆる問題の原因が教育なら、解決するのも教育だ。
だから、私たちが変えていく。
そして、あなたは どうしたい。

左は、先日勉強会に行きました学校のパンフレットに書かれていたものです。その学校の名は「横浜創英中学・高等学校」です。全国的に注目を浴びている学校です。

これを見て思いました。「東中だ」と。

東中生を見ていますと、(政治家等になって)世の中をより良い方向に導いてくれそうな人、地球のためになるすばらしい発明・発見をしてくれそうな人、優しさで世界を平和にしてくれそうな人・・・、挙げればきりがありませんが、世の中を動かす人材の宝庫に思えます。

そこには、公立や私立など関係ありません。東中には、理解のある保護者・地域があります。今後も、多様な御意見を頂きながら、より良い、魅力的な学校づくりに励んでいきたいと思っています。

温かい心

昨年度、3月14日(木)に学習文化委員長さんから預かりました能登地震義援金を、先日、赤十字社に手渡しました。まだまだ、厳しい生活を強いられている方々がたくさんいるなど、復興にはまだまだ道のりは長いようです。東中生から集まった温かい心は、きっと被害にあわれた方々に届くはずですよ。



一日も早い復興を～募金活動～

熱く 温かく

昨年度、コミュニティ・スクールにて実施されました奉仕活動で、きれいにしていただいた中庭のモニメントに書かれてありました。今の東中生のイメージに重なると思い、今年度の学校だよりのタイトルとさせていただきます。